

トーゼロ・ロジスティクス株式会社

物流センター竣工 1995年5月（会社設立 1993年10月）

所在地 栃木県下都賀郡野木町野木 142-1

従業員数 42名（2016年1月現在全社合計）

主な事業内容

プラスチックフィルム・シート分野で国内有数の企業である三井化学東セロ株式会社の関係会社として、製品の保管から輸送までを一手に担っている物流会社です。

扱っている製品は、日用品から生鮮野菜・加工食品・医薬品など、暮らしの中にある様々なものを包むフィルム。最先端の半導体・電子部品産業の生産を支える高精度の製造工程用フィルムです。特に食品包装用フィルムは多くの食品メーカーのパッケージに使用され生活には欠かせない存在として日本の食文化を影で支える物流会社です。



《社員のひとこと》

野木町に大規模な立体自動倉庫を建設して 20年、工場協会の一員として地域活動などを通じて野木町のみなさんと交流を深め、東日本大震災で経験した物流の大切さを未来に伝えること、安全を第一にこれからも日本の物流を微力ながら支えて行きたいと思えます。（経営管理部 大塚 完爾）

広報連絡委員レポート No.357

新聞少年だったから…



広報連絡委員  
岩崎 安一

「ガチャーン」ブルルルルル」未だ明けぬ凍て空。静まり返った師走の巷。私は時々この音で目が覚める。新聞配達員さんが新聞を配達する時の音である。凍り付くような寒さの中、毎日決まった時刻に配達してくれる配達員さんに私は心の中でお礼を言う。「寒い中、お疲れ様」と

50数年以上も前の話である。私は中学生のとき、新聞配達を2年間続けた。朝刊を約1000件分、夕刊を約500件分毎日配った。その量は途轍もなく重く、

広告が入るとずしりと2倍以上になることもある。特に冬の朝刊配達にはきつかった。雨の日も風の日も、そして雪の日も配達を休むことは許されない。辛く厳しい毎日だった。学校を遅刻したこともあった。授業中居眠りをしたこともあった・・・。

吐く息は白く、手は悴み、つま先の感覚がなかったことも。指先が麻痺し、何度危ない目に遭ったか分らない。何度途中でやめようと思ったか分らない。

でも、新聞が届くのを楽しみに待っている人たちのことを思うと自然に力が湧いてきて、卒業までの2年間、一度も休むことなく全うすることができた。

たくさんの人たちの手を経て、新聞は購読者の手元に届く。その末端の役目を果たすのが新聞配達員なのである。それだけにその務めは重く尊い。

私は毎日、新聞を見るのを楽しみにしている。当たり前新聞受けから新聞を取り出し、当たり前前にページをめくる。それが出来るのも、厳しい自然と闘いながら、届けてくださる新聞配達員さんがいるからである。自分が新聞少年だったから余計にそう感じるのかもしれない。

「ブルルルルル」ガチャーン」今朝も寒い中、新聞配達員さんが新聞を配達してくれた。私は、布団の中で無事にお務めが終わることを祈りながら言った。「ありがとう。お疲れ様。気を付けて・・・。」と。

